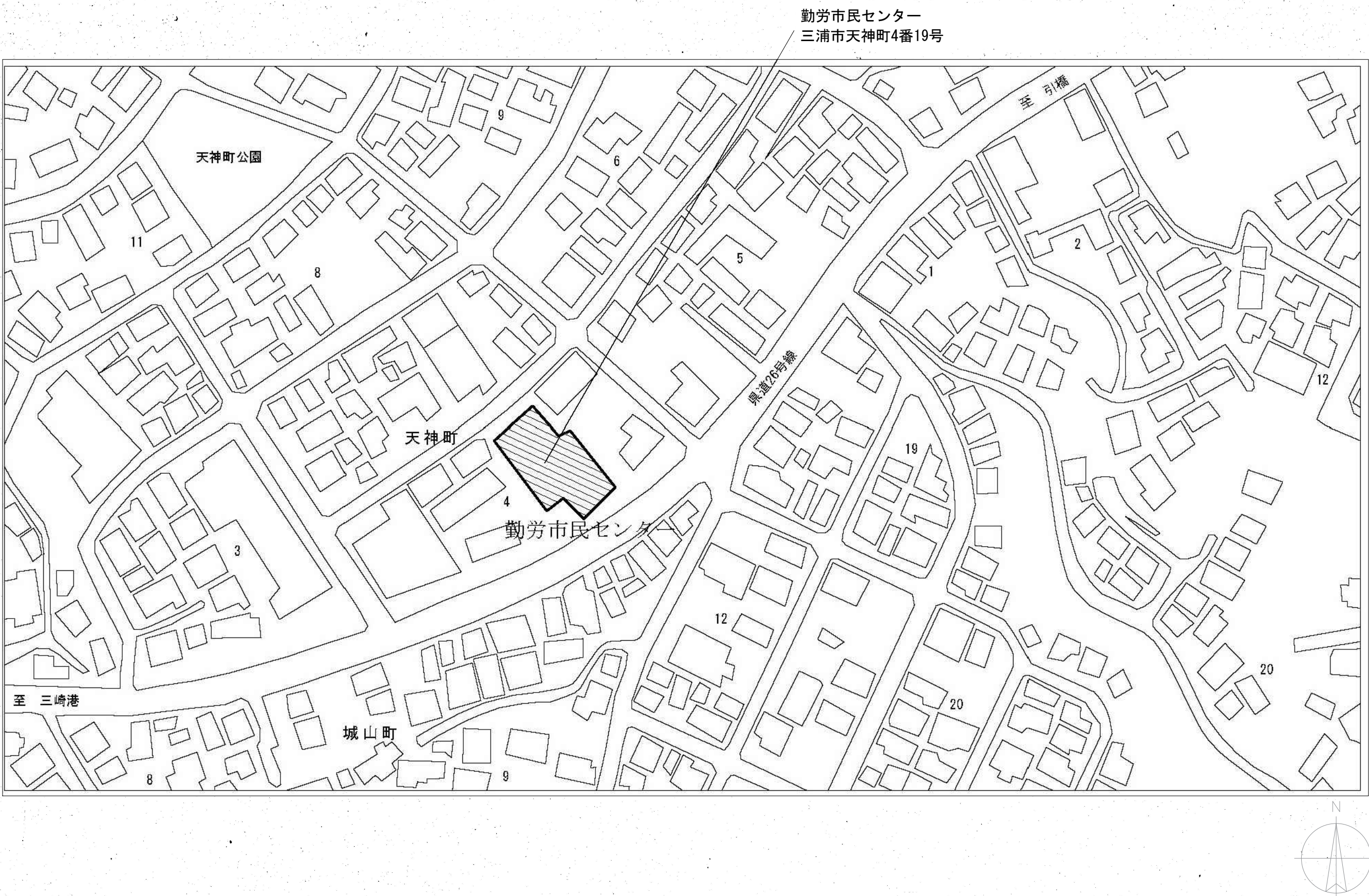
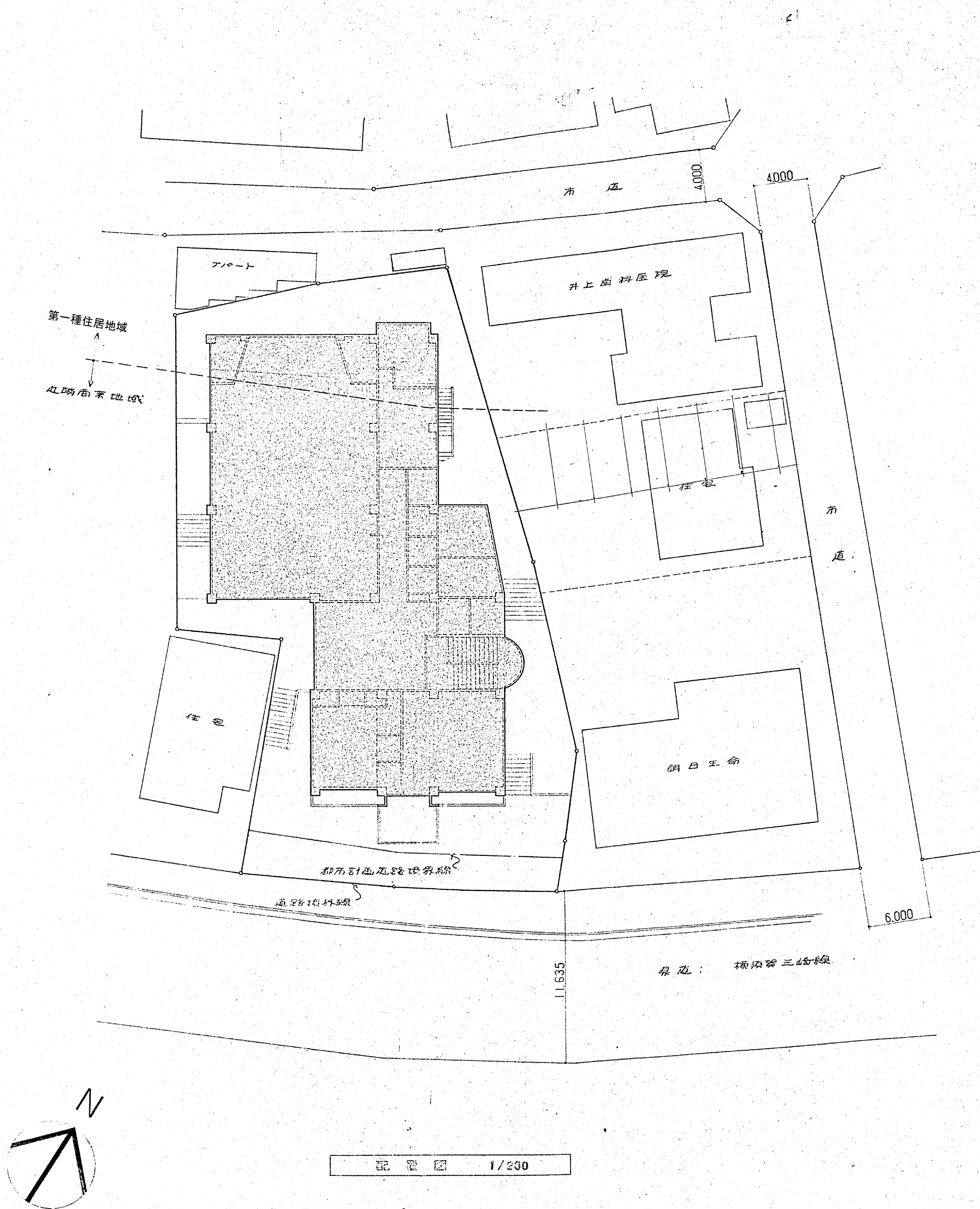


三浦市勤労市民センター改修工事

記号	図面名
A-01	敷地概要・案内図
A-02	特記仕様書(1)
A-03	特記仕様書(2)
A-04	特記仕様書(3)
A-05	特記仕様書(4)
A-06	特記仕様書(5)
A-07	特記仕様書(6)
A-08	特記仕様書(7)
A-09	外壁の改修方法
A-10	アスベスト処分特記仕様書
A-11	既存仕上表
A-12	改修前後仕上表
A-13	1階平面図（改修後・前）
A-14	2階平面図（改修後・前）
A-15	3階平面図（改修後・前）
A-16	R階平面図（改修後・前）
A-17	1階天井伏図（改修後・前）
A-18	2階天井伏図（改修後・前）
A-19	3階天井伏図（改修後・前）
A-20	建具一般事項、特記仕様材料表
A-21	建具表（改修後）1
A-22	建具表（改修後）2
A-23	建具表（撤去図）
A-24	立面図

記号	図面名
A-25	矩計図 1
A-26	矩計図 2
A-27	矩計図 3
A-28	矩計図 4
A-29	階段詳細図
A-30	外階段詳細図
A-31	2階・3階トイレ改修図面
A-32	トイレ改修ディテールシート
A-33	太陽光パネル架台、部分詳細図
A-34	トップライト詳細図
A-35	キュービクル基礎詳細図
参A-01	新築時設計図 雑詳細図 1
参A-02	新築時設計図 雑詳細図 2
参A-03	新築時設計図 雑詳細図 3
参A-04	新築時設計図 展開図 1
参A-05	新築時設計図 展開図 2
参A-06	新築時設計図 展開図 3
参A-07	新築時設計図 展開図 4
参A-08	新築時設計図 展開図 5
参A-09	新築時設計図 展開図 6
参A-10	屋根伏図 仮設計画図（参考図）
参A-11	内部階段 仮設計画図（参考図）

	株式会社一級建築士事務所 DEN-A	事務所登録 株式会社一級建築士事務所(県) 登録 第17554号		作成日	設計工番	件 名 三浦市勤労市民センター改修工事	区 分	番 号	
		建築士登録 一級建築士 (大臣) 登録 第170642号	査図	担当	作図	図面名称			縮 尺
		田中 克樹							



建築物概要	
用途地域	近隣商業地域、一部第一種住居地域
防火地域	無
建築面積	502.175 m ²
延床面積	976.907 m ²
敷地面積	799.30m ²
建ぺい率	62.73%
容積率	122.04%
最高高さ	25.11

4 1 2	外壁改修工事・モルタル塗り仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工法	・既存モルタル撤去工法 (範囲は図面による 撤去部分の補修は、2 欠損部改修工法による) ※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 5] [4. 3. 6] (※既存モルタル面・既存躯体コンクリート面) 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.05～0.2 ・ 200～250 ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2～1.0 ・ 250～300 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) ・低粘度形 ・中粘度形 ・確認(コア抜取り)を行う。 [4. 2. 5] (抜取り部の補修方法：樹脂モルタルにて埋め、既存に做 (抜取り個数：各壁面につき2箇所) ・Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4] [4. 2. 6] [4. 3. 7] 充填材料 品質・規格等 備考 ・シーリング用材料 ※1成分形または2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ・JIS A 6024 ポリマーセメントモルタルの品質・規格等 実績等の資料を監督員に提出する ・シール工法 [4. 1. 4] [4. 2. 4] [4. 2. 7] [4. 3. 8] シール材料 品質・規格等 ・パテ状エポキシ樹脂 ・JIS A 6024 ・可とう性エポキシ樹脂 ・既存塗り仕上げ材の撤去及び補修 [4. 4. 2] [4. 6. 3] (※シール工法の範囲)	4 その他										
		2 欠損部改修工法	既存モルタル面の欠損部 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 4. 3] [4. 4. 8～9] 改修工法の種類 材料 品質・規格等 ・充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・JIS A 6024 ・ポリマーセメントモルタル ・実績等の資料を監督職員に提出 塗り厚25mmを超える場合の補強処置 ※行う ・行わない ・図面による ・モルタル塗替え工法 「改修標仕」 4.2.2(7)による	② 欠損部改修工法										
		3 浮き部改修工法	既製目地材 [4. 3. 4] ・適用する(形状 ※図面による) 改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) [4. 3. 11～16] [表4. 3. 3～4] アンカーピンの本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 充填量 注入量 (ml/箇所) 一般 指定 一般 指定 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※25 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50 ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※25 ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※25 ・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー工法 ※9 ※16 ※9 ※16 ※50 アンカーピン [4. 3. 5] 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの 注入口付アンカーピン [4. 3. 5] 材質 ※ステンレスSUS304、呼び径外形6mm ポリマーセメントスラリー [4. 3. 5] 実績等の資料を監督職員に提出	③ 浮き部改修工法										
4 1 2	外壁改修工事・モルタル塗り仕上げ外壁	1 ひび割れ部改修工事	改修場所 ※既存タイル張り面 ・既存タイル撤去面 (・コンクリート面) [4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 5] ※樹脂注入工法 [4. 1. 4] [4. 3. 4] [4. 5. 5] 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) 備考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.05～0.2 ・ 200～250 ・ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2～1.0 ・ 250～300 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024) ・低粘度形 ・中粘度形 ・確認(コア抜取り)を行う。 [4. 3. 4] (抜取り部の補修方法： (抜取り個数：) ・Uカットシール材充填工法 [4. 1. 4] [4. 2. 2] [4. 3. 5] [4. 5. 6] 充填材料 品質・規格等 備考 ・シーリング用材料 ※1成分形または2成分形ポリウレタン系シーリング材 ・可とう性エポキシ樹脂 ・JIS A 6024 ポリマーセメントモルタルの品質・規格等 実績等の資料を監督員に提出する ・タイル部分張替え工法 [4. 1. 4] [4. 4. 7] 事前調査に基づき、適用範囲については監督員と協議する。 ① タイル張替え工法 [4. 1. 4] [4. 4. 8] 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 [4. 4. 8] [表4. 4. 2] 位置 ※「改修標仕」表4. 4. 2による ・図面による ② タイルの試験張りを行う [4. 4. 7～8] [表4. 4. 5] ③ タイルの種類別 工法 ・外装タイル ④ 密着張り ・改良積上げ張り ・ユニットタイル ⑤ 改良圧着張り ・マスク張り ・モザイクタイル張り ⑥ タイルの試験張りを行う [4. 4. 5(4) (エ) ④] ・既製調合モルタル(張付け用) [4. 4. 5(4) (エ) ④] 実績等の資料を監督職員に提出 ・外装タイル貼り下地等の下地モルタル及び下地調整 塗材塗りの接着力試験を行う [4. 4. 8(8) (ア) (a)] (・外装壁タイル接着剤張り [表4. 4. 6] ⑦ タイルの種類 裏あし高さと裏面反り 接着剤使用量 ・外装タイル 裏あし高さ0.9mm以下、かつ、裏面反り±0.7mm以下 2.5kg/m ² 上記以外 3.5kg/m ² ・ユニットタイル 裏あし高さ0.9mm以下、かつ、裏面反り±0.7mm以下 2kg/m ² 上記以外 2.5kg/m ² ・外装壁タイル接着剤張り専用タイル以外のタイル 改修工法の種類 [4. 4. 9～15] [表4. 3. 5～6] (モルタルを撤去しない場合) アンカーピンの本数 (本/m) 注入口の箇所数 (箇所/m) 充填量 注入量 (ml/箇所) 一般 指定 一般 指定 ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※16 ※25 ※25 ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※25 ・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー工法 ※13 ※20 ※12 ※20 ※50 ⑧ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 ※9 ※16 ※25	4 目地改修工法 ⑤ タイルの種類 6 その他										
		4 目地改修工法	伸縮調整目地改修工法 [4. 1. 4] [4. 4. 16] 目地の位置 寸法 ・図面による シーリング用材料 [3. 7. 2] [表3. 7. 1] [4. 4. 16] 種類 施工箇所 ・図面による ④ 目地改修工法 形状 寸法 (mm) うわぐすり 役物 色 再生材 対凍害性 用途による区分 施工箇所 施 無 あり なし 標準 特注 あり なし ゆ う あり なし ・ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ 役物 標準的な曲がり(小口、標準、二丁、屏風)の役物は一体成形とする。 ・タイルの見本焼きを行う ⑨ サンプルを提出し、監督員承諾のうえ、施工すること	4 目地改修工法 ⑤ タイルの種類 6 その他										
		4 目地改修工法	調査範囲 ※躯体コンクリート面 (※図面による) [1. 5. 2] 調査内容 ひび割れの幅及び長さを壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。 コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。 調査報告書の部数 ※2部 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 [4. 5. 4] [表4. 5. 3～7] 工法 処理範囲 下地面の補修 ・サンダー工法 ※既存仕上面全体・脆弱部 ⑩ ひび割れ部 ⑪ 高圧水洗工法 ※既存仕上面全体・脆弱部 ⑪ 改修工法 ・塗膜はく離剤 ※既存仕上面全体 ⑫ 浮き部改修工法 ⑬ 水洗い工法 ⑭ 上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ⑮ 欠損部改修工法 ⑯ 下地調整材 [4. 5. 2] [4. 5. 4] ⑰ ポリマーセメント下地調整材 製造所 性能等の確認できる資料を提出し監督職員の承諾を受ける。 ・防水形仕上げ塗材主材を使用 ⑱ 仕上げ塗材仕上げ種類、仕上げの形状、工法 [4. 1. 4] [4. 5. 2] [表4. 5. 1～2] 種類 呼び名 仕上げの形状等 工法 ・薄付仕上塗材 ・外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・ゆず肌状 ・ローラー ・可とう形外装薄塗材Si ・砂壁状 ・吹付け ・さざ波状 ・ローラー ・ゆず肌状	4 目地改修工法 ⑤ タイルの種類 6 その他										
5 1 2 3 4	建具改修工事	1 改修工法	建具の種類 呼び名 撤去工法 適用箇所 [5. 1. 3] ・アルミニウム製建具 ・かぶせ工法 ・ ※図面による ・鋼製建具 ・外部 ・ ※図面による ・鋼製軽量建具 ・内部 ・ ※図面による ⑩ ステンレス製建具 ・ ※図面による ⑪ 木製建具 ・ ※図面による 新規に建具を設ける場合 ※図面による 防火戸の指定 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構等 ※図面による 建具見本の製作 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] ・本工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの ・収まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] 適用する() [5. 1. 7]	5 マスチック塗材塗り 6 外壁用塗膜防水材塗り 7 その他										
		2 防火戸	防火戸の指定 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構等 ※図面による											
		3 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] ・本工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの ・収まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] 適用する() [5. 1. 7]											
6 1 2 3 4	防犯建物部品	1 防犯戸	防火戸の指定 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構等 ※図面による											
		2 防犯戸	防火戸の指定 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構等 ※図面による											
		3 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] ・本工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの ・収まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] 適用する() [5. 1. 7]											
7 1 2 3 4	防犯建物部品	1 防犯戸	防火戸の指定 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構等 ※図面による											
		2 防犯戸	防火戸の指定 [5. 1. 4] 防火戸の自動閉鎖機構等 ※図面による											
		3 見本の製作等	建具見本の製作 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] ・本工事に使用するものとして、あらかじめ製作するもの ・収まり等が分かる程度のもの 特殊な建具の仮組 ・行う (建具番号：) [5. 1. 5] 適用する() [5. 1. 7]											
三浦市			工事名	三浦市勤労市民センター改修工事										
年月日			R7.1	縮尺	NO.SCALE									
設計者			株式会社一級建築士事務所 DEN-A 一級建築士登録 第170642号											
施設番号			A-04											

5

アルミニウム製
建具

外部に面する建具の性能等級等
種類 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm)
・A種 ※S-4 ※A-3 ※W-4 ※70
・B種 ※S-5
・C種 ※S-6 ※A-4 ※W-5 ※100
種類 性能等級 建具符号
・防音ドア 遮音性
・T-1 ・T-2 ・T-3
・防音サッシ
・T-4
・断熱ドア 断熱性
・H-1 ・H-2 ・H-3
・断熱サッシ
・H-4 ・H-5
・耐震ドア 面内変形追随性
・D-1 ・D-2 ・D-3
表面処理
外部に面する建具
※BA-1種
・BA-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・BB-1種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・BB-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・BC-1種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・BC-2種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
屋内の建具
・C種 (・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
結露水の処理方法
[5. 2. 4]

6

網戸等

種類 材種 線径 網目
・防虫網 ※合成樹脂製 ※0. 25mm ※16～18
・ガラス繊維入り合成樹脂製
・ステンレス (SUS316) mm
・防鳥網 ・ステンレス (SUS304) 線材 1. 5mm 15mm以上

7

樹脂製建具

外部に面する建具の性能等級等
種別 耐風圧性 気密性 水密性 枠見込み (mm)
・A種 ※S-4 ※A-4 ※W-4 ※図面による
・B種 ※S-5
・C種 ※S-6
種類 種別 性能等級
・防音ドア ・T-A種 遮音性 T-1
・防音サッシ ・T-B種 遮音性 T-2
・断熱ドア ・H-A種 断熱性 H-4
・断熱サッシ ・H-B種 断熱性 H-5
・断熱サッシ ・H-C種 断熱性 H-5
ガラス ※複層ガラス ・単層ガラス
表面色 ・標準色 ・特注色
簡易気密型ドアセット
・気密性 A-3
・水密性 W-4
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
・S-4 ・S-5 ・S-6
鋼板種
・JIS G 3302
・JIS G 3101
鋼板類のめっきの付着量 ・Z12 ・F12
鋼板類の厚さ
※「改修標仕」表5. 4. 2による mm
簡易気密型ドアセットの気密性
※A-3
戸の鋼板
※亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
召合せ 縦小口包み板等の材質
※鋼板
・ステンレス鋼板 (※SUS304
・アルミニウム合金押出型材
鋼板類の厚さ
※「改修標仕」表5. 5. 1による mm
簡易気密型ドアセット
・気密性 A-3
・水密性 W-4
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
※S-4 ・S-5 ・S-6
ステンレス鋼板
※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1
表面仕上げ ※HL仕上げ
曲げ加工 ※普通曲げ 角出し曲げ
建具用金物は建具表による
[5. 7. 1～5. 7. 3]

8

鋼製建具

簡易気密型ドアセット
・気密性 A-3
・水密性 W-4
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
・S-4 ・S-5 ・S-6
鋼板種
・JIS G 3302
・JIS G 3101
鋼板類のめっきの付着量 ・Z12 ・F12
鋼板類の厚さ
※「改修標仕」表5. 4. 2による mm
簡易気密型ドアセットの気密性
※A-3
戸の鋼板
※亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
召合せ 縦小口包み板等の材質
※鋼板
・ステンレス鋼板 (※SUS304
・アルミニウム合金押出型材
鋼板類の厚さ
※「改修標仕」表5. 5. 1による mm
簡易気密型ドアセット
・気密性 A-3
・水密性 W-4
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
※S-4 ・S-5 ・S-6
ステンレス鋼板
※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1
表面仕上げ ※HL仕上げ
曲げ加工 ※普通曲げ 角出し曲げ
建具用金物は建具表による
[5. 7. 1～5. 7. 3]

9

鋼製軽量建具

簡易気密型ドアセットの気密性
※A-3
戸の鋼板
※亜鉛めっき鋼板
・ビニル被覆鋼板
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
召合せ 縦小口包み板等の材質
※鋼板
・ステンレス鋼板 (※SUS304
・アルミニウム合金押出型材
鋼板類の厚さ
※「改修標仕」表5. 5. 1による mm
簡易気密型ドアセット
・気密性 A-3
・水密性 W-4
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
※S-4 ・S-5 ・S-6
ステンレス鋼板
※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1
表面仕上げ ※HL仕上げ
曲げ加工 ※普通曲げ 角出し曲げ
建具用金物は建具表による
[5. 7. 1～5. 7. 3]

10

ステンレス製
建具

簡易気密型ドアセット
・気密性 A-3
・水密性 W-4
外部に面する鋼製建具の耐風圧性
※S-4 ・S-5 ・S-6
ステンレス鋼板
※SUS304 ・SUS430J1L ・SUS443J1
表面仕上げ ※HL仕上げ
曲げ加工 ※普通曲げ 角出し曲げ
建具用金物は建具表による
[5. 7. 1～5. 7. 3]

11

木製建具

建具材の種別
※A種 ・B種
フラッシュ戸の表面材の種類及び品質等
種類 ※図面による
品質等 ※「改仕」5. 7. 2(2) (4)による
MDFの区分 ※図面による
かまち戸の樹種
かまち () 鏡板 ()
ふすまの材料種別 ・I 型 II 型
ふすまの上張り
※新鳥の子またはビニル紙程度 (押入等の裏面は除く)
・鳥の子
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
枠及びくづずりの材料 ()
フラッシュ戸の表面材の厚さ
※「改仕」表5. 7. 6による
見込み寸法
※「改仕」表5. 7. 7による
ふすまの縁の仕上げ ()
建具用金物は建具表による
[5. 8. 1～5. 8. 3]
マスターキー
※鍵はロータリー式
・在来マスターキーにあわせ製作する
(本数 ※3本1組
・在来マスターキーにあわせないで製作する
(本数 ※3本1組
鍵の引渡し
鍵箱への収納 ・収納する
・収納しない
開閉方式
・片引き ・引分け
戸の開閉方法は図面による
防錆 ・適用する
ドアの種類
・JIS A 4722 (歩行者用) ・多機能トイレ出入口
・SSLD-1 ・SSLD-2
・DSL-1 ・DSL-2
センサーの種類
・光線 (反射) センサー ・熱線センサー
・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー
・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
・多機能トイレスイッチ
・凍結防止措置を行う
自閉式上吊引戸の性能
[5. 10. 3]
適用戸の重量
・40kg以下
・「改修標仕」表5. 9. 1による
・40kgを超えるもの
・「改修標仕」表5. 9. 1による
シャッターの種類
・管理用シャッター (JIS A 4705、4706に基づく)
(耐風圧強度 ・S-1 ・S-2
・外壁用防火シャッター
(耐風圧強度 ・S-1 ・S-2
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式
・シャッターケースの設置
重量シャッターに使用する鋼板類の厚さ
・厚さを増す (図面による)
・安全保護装置の設置
開閉機能による種類
※手動式 ・上部電動式 (手動併用)
耐風圧強度 ・S-1 ・S-2
スラットの材質
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
スラットの形状
・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
セクション材料 (JIS A 4715)
※スチールタイ
プ
・アルミニウム
タイプ
・ファイバーグ
ラスタイプ
開閉方式
※バラン
ス式
・チェー
ン式
・電動式
収納形式
・スタンダード
形
・ローヘッド形
・ハイリフト形
・パーチカル形
ガイドレール
の材質
※溶融亜鉛
めっき鋼
板
・ステンレ
ス鋼板
耐風圧性能
・S-1 ・S-2
ガラスは建具表による
[5. 14. 2]

12

建具用金物

建具用金物は建具表による
[5. 8. 1～5. 8. 3]
マスターキー
※鍵はロータリー式
・在来マスターキーにあわせ製作する
(本数 ※3本1組
・在来マスターキーにあわせないで製作する
(本数 ※3本1組
鍵の引渡し
鍵箱への収納 ・収納する
・収納しない
開閉方式
・片引き ・引分け
戸の開閉方法は図面による
防錆 ・適用する
ドアの種類
・JIS A 4722 (歩行者用) ・多機能トイレ出入口
・SSLD-1 ・SSLD-2
・DSL-1 ・DSL-2
センサーの種類
・光線 (反射) センサー ・熱線センサー
・音波センサー ・光電センサー ・電波センサー
・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ
・多機能トイレスイッチ
・凍結防止措置を行う
自閉式上吊引戸の性能
[5. 10. 3]
適用戸の重量
・40kg以下
・「改修標仕」表5. 9. 1による
・40kgを超えるもの
・「改修標仕」表5. 9. 1による
シャッターの種類
・管理用シャッター (JIS A 4705、4706に基づく)
(耐風圧強度 ・S-1 ・S-2
・外壁用防火シャッター
(耐風圧強度 ・S-1 ・S-2
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
開閉機能による種類
※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式
・シャッターケースの設置
重量シャッターに使用する鋼板類の厚さ
・厚さを増す (図面による)
・安全保護装置の設置
開閉機能による種類
※手動式 ・上部電動式 (手動併用)
耐風圧強度 ・S-1 ・S-2
スラットの材質
※塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯
スラットの形状
・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形
セクション材料 (JIS A 4715)
※スチールタイ
プ
・アルミニウム
タイプ
・ファイバーグ
ラスタイプ
開閉方式
※バラン
ス式
・チェー
ン式
・電動式
収納形式
・スタンダード
形
・ローヘッド形
・ハイリフト形
・パーチカル形
ガイドレール
の材質
※溶融亜鉛
めっき鋼
板
・ステンレ
ス鋼板
耐風圧性能
・S-1 ・S-2
ガラスは建具表による
[5. 14. 2]

19

ガラスとめ材

建具の種類
アルミニウム製 ※シーリング材
・ガasket
※グレイジングチャンネル形 (枠込み
70mmの引違い、片引障子の場合)
鋼製 ※シーリング材
ステンレス製 ※シーリング材
板ガラスをはめ込む溝の大きさ
※「改修標仕」図5. 14. 11による
(強化ガラス、倍強度ガラスを用いる場合を除く)
ガラスブロックの材料は建具表による
壁用金属枠及び補強材 ※図面による
シーリング材 ※SR-1
金属製化粧カバーの材質、寸法、形状 ※図面による
風圧力に対応した工法
既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

20

ガラスブロッ
ク

ガラスブロックの材料は建具表による
壁用金属枠及び補強材 ※図面による
シーリング材 ※SR-1
金属製化粧カバーの材質、寸法、形状 ※図面による
風圧力に対応した工法
既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

1

内装
改修
工事

改修範囲
既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

2

改修範囲

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

3

既存壁の撤去、
下地補修

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

4

既存床の撤去、
下地補修

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

5

材料

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

6

既存壁の撤去、
下地補修

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

7

既存壁の撤去、
下地補修

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

8

木下地等

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

9

材料

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

10

材料

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

11

材料

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の
改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
・図面による
天井内の既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井の
改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上
げを行う
・図面による
ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも)
下地モルタルの撤去 ※図面による
合成樹脂塗料材床の撤去工法
・機械的除去工法 ・目荒し工法
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※「改修標仕」4. 3. 10による
機械加工仕上げの程度
・A種 ・B種 ・C種
手加工仕上げの程度
・H-A種 ・H-B種 ・H-C種
現場搬入時の木材の含水率
※A種 ・B種
「製材の日本農林規格」による製材
・下地用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類耳付・押角) 含水率 (%)
※2級
造作用針葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (板類・角類) 含水率 (%)
・上小節
・小節以上
広葉樹製材
樹種 寸法 (mm) 等級 形状 (耳付材の有無) 含水率 (%)
※1等
「製材の日本農林規格」以外の製材
・下地、造作及び仕上げ用製材
樹種 寸法 (mm) 材面の品質 防虫処理 難燃処理 含水率 (%) 代用樹種
・A種
・B種
造作材
使用箇所 部材名称 種別
生地のまま 枠、額縁、敷居、かもし、 ※A種
又は透明塗 かまちの類 ※B種
料塗り 押入、戸棚等の内面造作 ※A種
の類 ・B種
不透明塗料塗り ※A種 ・B種
造作用集成材
ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆
「集成材の日本農林規格」による造作用集成材
・造作用集成材
樹種 寸法 (mm) 見付け材面の等級
※1等

12

材料

既存壁の撤去に伴う、当該壁の取合う天井・壁・床の

②下地調整

素地ごしらえ

既存塗膜の除去範囲
(塗替えてRB種の場合)
※劣化部分除去
下地調整・素地ごしらえ

[7. 2. 1][表7. 2. 1～表7. 2. 7]

[7. 2. 2～7. 3. 7][表7. 2. 1～7. 3. 7]

下地面の種類	下地調整等の種類 塗替え	新規	ひび割れ部の補修
木部	※RB種	・A種 ・B種	
鉄鋼面	※RB種	※C種 ・DPはB種	
亜鉛めっき鋼面	※RB種	・A種 ・B種	
亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※RB種	・A種 ・B種	
モルタル、せっこう プラスター面	※RB種	・A種 ※B種	○行う
コンクリート(8節以 外)、ALCパネル面	※RB種	・A種 ※B種	○行う
コンクリート(8節)、 押出成形セメント板面	※RB種	・A種 ・B種	・行う
せっこうボード、そ の他のボード面	※RB種	・A種 ・B種	

③錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種類

塗装面

適用

塗料種別

工程種別
塗替え

新規

鉄鋼面	5節(SOP塗り)	※A種	※C種	・A種(見掛け) ・B種(見隠れ)
	8節(DP塗り) 新規面	1回目C種 2・3回目D種		※A種 ・B種 ・C種
	8節(DP塗り) 塗替えRA種	1回目C種 2・3回目D種		・A種 ・B種 ・C種
	8節(DP塗り) 塗替えRB・RC種	※E種		・A種 ・B種 ・C種
	9節(屋内EP-G塗り)	・A種 ※B種	※C種	・A種(見掛け) ・B種(見掛け)
亜鉛め っき鋼 面	5節(SOP塗り)	※A種	※C種	※A種(鋼製建具等) ・B種
	8節(DP塗り)	※B種		
	9節(屋内EP-G塗り)	※C種	※C種	[表7. 4. 6] ※A種(鋼製建具等) ・B種

耐火材吹付けなど、被覆材が接着する面への塗装

○行わない

適用箇所

図示による()

塗料の種類別

「標仕」18. 3. 2表18. 3. 1(A) 種

④塗装

塗装の種類

塗装面

工程種別
塗替え

新規

・合成樹脂調合 ペイント塗り (SOP)	木部	※B種	・A種(屋外) ・B種(屋内)
	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種
	亜鉛めっき鋼面	※B種	※B種
	亜鉛めっき鋼面 (鋼製建具)	※A種	※B種
・クリアラッカ ー塗り(OL)	木部	※B種	※B種
・アクリル樹脂 系非水分散形 塗料塗り(NAD)	コンクリート モルタル面	※B種	※B種
①耐水性塗料塗 り(DP)	鉄鋼面	○A種	※A種
	亜鉛めっき鋼面	・A種	※A種
	コンクリート、 モルタル、押出成 形セメント板面	○A-1種 ・A-2種 ・B-1種 ・B-2種 ・C-1種 ・C-2種	・A-1種 ・B-1種 ・C-1種
	コンクリート、 モルタル、せっ こうプラスター 、せっこうボ ード、その他ボ ード面	※B種	・A種 ・B種
・つや有合成樹 脂エマルシ ョンペイント塗 り(EP-G)	木部	※B種	※A種
	鉄鋼面	※B種	・A種 ・B種
	亜鉛めっき鋼面	※A種	※A種
②合成樹脂エマ ルションペイ ント塗り(EP)	コンクリート、 モルタル、せっ こうプラスター 、せっこうボ ード、その他ボ ード面	○B種	・A種 ・B種

8
|
1

耐震改修工事

1 一般事項

工事内容

工事種別

[8. 1. 1]

[8. 1. 1]

[8. 1. 1]

8
|
3

コンクリート工事

1 コンクリートの種類及び強度

コンクリートの種類

コンクリートの強度

コンクリートの強度

[8. 1. 3]

[8. 1. 3]

[8. 1. 3]

[8. 1. 3]

2 普通コンクリートの材料

セメントの種類

コンクリートの材料

コンクリートの材料

[8. 2. 5]

[8. 2. 5]

[8. 2. 5]

[8. 2. 5]

3 コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打込み工法等

コンクリートの打込み工法等

[8. 2. 1. 8]

[8. 2. 1. 8]

[8. 2. 1. 8]

[8. 2. 1. 8]

4 鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手及び定着

鉄筋の継手及び定着

[8. 3. 4]

[8. 3. 4]

[8. 3. 4]

[8. 3. 4]

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

[8. 3. 5]

[8. 3. 5]

[8. 3. 5]

[8. 3. 5]

6 壁の配筋及び補強

壁の配筋及び補強

壁の配筋及び補強

壁の配筋及び補強

[8. 3. 7]

[8. 3. 7]

[8. 3. 7]

[8. 3. 7]

7 ガス圧接

ガス圧接

ガス圧接

ガス圧接

[8. 3. 8]

[8. 3. 8]

[8. 3. 8]

[8. 3. 8]

8
|
4

あと施工アンカー工事

1 設計・施工指針

設計・施工指針

設計・施工指針

設計・施工指針

[8. 2. 7]

[8. 2. 7]

[8. 2. 7]

[8. 2. 7]

2 アンカーの種類

アンカーの種類

アンカーの種類

アンカーの種類

[8. 2. 4]

[8. 2. 4]

[8. 2. 4]

[8. 2. 4]

3 穿孔前の埋込み配管等の調査

穿孔前の埋込み配管等の調査

穿孔前の埋込み配管等の調査

穿孔前の埋込み配管等の調査

[8. 12. 4]

[8. 12. 4]

[8. 12. 4]

[8. 12. 4]

4 あと施工アンカーの確認試験

あと施工アンカーの確認試験

あと施工アンカーの確認試験

あと施工アンカーの確認試験

[8. 12. 7]

[8. 12. 7]

[8. 12. 7]

[8. 12. 7]

5 シアコネクタ

シアコネクタ

シアコネクタ

シアコネクタ

[8. 12. 7]

[8. 12. 7]

[8. 12. 7]

[8. 12. 7]

8
|
5

鉄骨工事

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場

鉄骨製作工場

鉄骨製作工場

[8. 1. 5]

[8. 1. 5]

[8. 1. 5]

[8. 1. 5]

2 施工管理技術者

施工管理技術者

施工管理技術者

施工管理技術者

[8. 1. 5]

[8. 1. 5]

[8. 1. 5]

[8. 1. 5]

3 工作図

工作図

工作図

工作図

[8. 13. 2]

[8. 13. 2]

[8. 13. 2]

[8. 13. 2]

4 鋼材

鋼材

鋼材

鋼材

[8. 2. 8]

[8. 2. 8]

[8. 2. 8]

[8. 2. 8]

5 高力ボルト

高力ボルト

高力ボルト

高力ボルト

[8. 2. 9]

[8. 2. 9]

[8. 2. 9]

[8. 2. 9]

6 仮組

仮組

仮組

仮組

[8. 13. 10]

[8. 13. 10]

[8. 13. 10]

[8. 13. 10]

7 技能資格者

技能資格者

技能資格者

技能資格者

[8. 15. 3]

[8. 15. 3]

[8. 15. 3]

[8. 15. 3]

8 材料準備

材料準備

材料準備

材料準備

[8. 15. 4]

[8. 15. 4]

[8. 15. 4]

[8. 15. 4]

9 溶接施工

溶接施工

溶接施工

溶接施工

[8. 15. 7]

[8. 15. 7]

[8. 15. 7]

[8. 15. 7]

三浦市

三浦市

三浦市

三浦市

年月日

R7.1

縮尺

NO.SCALE

設計者

株式会社一級建築士事務所 DEN-A

一級建築士登録

第170642号

工事名

三浦市勤労市民センター改修工事

図面名称

建築改修工事特記仕様書(その6)

施設番号

棟番号

完成年度

図面種類

固有番号

図面番号

A-07

10	溶接部の試験	完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 [8. 24. 6]	工場溶接部の場合 ※全数試験とする ・「標仕」 7. 6. 12 (イ) (b) による 平均出検品質限界 (AOQL) ※4. 0% ・2. 5% [8. 24. 6] 検査水準 ※第6水準 ロットの構成 () 工事現場溶接の場合 ※全数試験とする [8. 24. 6] ・「標仕」 7. 6. 12 (イ) (c) による 平均出検品質限界 (AOQL) ※4. 0% ・2. 5% 検査水準 ※第6水準 ロットの構成 ()	2	柱の隅角部の面取り ※工法の評価内容により半径は20mm又は30mmとする。 [8. 24. 6]	6	外断熱改修工事 (外壁)	材料 (外断熱) [9. 2. 2] 種類 種別 厚さ (mm) 施工箇所 ・ビーズ法ポリスチレン ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 ・押出法ポリスチレンフォーム保温材A種 ・フェノールフォーム保温材 ・ロックウール ・グラスウール ・保温板 (2種b) ・25 ・保温板 (3種b) ・25 ※F☆☆☆☆ ・JIS A 9504 外装材の種類及び防火性能 [9. 2. 2] ・図面による 既存外壁の処置 [9. 2. 3] 既存外壁の仕上げ材撤去 下地面の清掃 下地面欠損部の改修工法 工法 [9. 2. 4] 通気層の有無及び厚さ 断熱材施工 外装材の施工	舗装材料及び厚さ等 [9. 5. 5~6] 車道部 ・ストレートアスファルト 厚さ (mm) ※50 歩道部 ・ストレートアスファルト 厚さ (mm) ※30 舗装の平たん性 [9. 5. 5] ※著しい不陸がないもの ・透水性アスファルト混合物等の抽出試験を行う [9. 5. 9]										
		11								錆止め塗料の種類	SRG造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面の錆止め塗料の種類 ※A種 ・図面による 特記により塗装を行う場合の耐火被覆材の接着する面の塗料の種類 () [8. 24. 7]	8	スリットの形状及び既存鉄筋の処理 [8. 25. 2] 記号 一般型 一面せん断型 形状 ※図面による ※図面による 幅w (mm) ※図面による ※図面による 既存鉄筋の処理 ・既存鉄筋はつりだし ・切断してよい 部分スリット 片側スリット 両側スリット 記号 形状 ※図面による ※図面による 幅w (mm) ※図面による ※図面による 目地部の残存厚さ ・壁厚の1/2以下かつ70mm以下 ・壁厚の1/2以下かつ70mm以下 既存鉄筋の処理 ・存置する ・既存鉄筋はつりだし ・切断してよい	7	断熱・防露改修工事 [9. 3. 2] 断熱材の種類 接着剤の熱伝導率 放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 [9. 3. 3] 断熱材の種類 断熱材の吹付け厚さ ・25mm 断熱材後張り工法 [9. 3. 4] 断熱材の種類 接着剤の熱伝導率 放散量 ※F☆☆☆☆	8	屋上緑化 [9. 4. 2] 材料及び地被類の種類等 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 工法 [9. 4. 3] 固定工法 かん水装置 既存保護層の撤去 新植芝等の枯補償 新植した芝及び地被類の枯れ補償期間 ※引渡しの日から1年	9	透水性アスファルト舗装 [9. 5. 2] 既存舗装の撤去及び再利用 ・既存舗装の撤去 ※図面による ・既存舗装の再利用 ※図面による 路床の構成、材料及び厚さ等 [9. 5. 3] ・遮断層を設置 (mm) [表9. 5. 1~9. 5. 3] 材料 ※川砂、海砂又は良質な山砂とし、品質は75 μm ふるい通過量が10%以下のもの ・凍上抑制層を設置 材料 厚さ (mm) フィルター層の厚さ (mm) 車道部 ※150 歩道部 ※50 ・路床安定処理 方法 ※添加材料による安定処理 厚さ () mm CBR () 添加材料の種類 ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・普通ポルトランドセメント ・生石灰 () ・消石灰 () ・ジオテキスタイル ジオテキスタイルの品質： 盛土の種類 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種 C種の場合 (建設発生土受入量 () m ³ 発生場所) 発生土の処理 ※指定処分 () ・構内指示の場所に堆積 ・構内指示の場所に敷き均し ・再利用 () ・確認処分 ・路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・路床の締固め度試験 ・現場CBR試験 ・砂の粒度試験 路盤材料及び厚さ等 [9. 5. 4] 路盤材料 ※再生クラッシャラン (RC-40) ・クラッシャラン (C-40) ・クラッシャラン鉄鋼スラグ (CS-40) 路盤厚さ (mm) 車道部 ※150 歩道部 ※100 ・路盤の締固め度試験
		12								耐火被覆の種類及び性能	※ラス梁モルタル塗り以外、建築基準法に基づき認定を受けたものとする 種別 所要性能及び適用構造区分 ・耐火材吹付け ・乾式吹付ロックウール ・半乾式吹付ロックウール ・湿式ロックウール ・耐火板張り ・耐火材巻付け ・ラス張りモルタル塗り	8	1	材料及び性能確認試験 [8. 26. 1] [8. 27. 1]	7	断熱・防露改修工事 [9. 3. 2] 断熱材の種類 接着剤の熱伝導率 放散量 ※F☆☆☆☆ 断熱材現場発泡工法 [9. 3. 3] 断熱材の種類 断熱材の吹付け厚さ ・25mm 断熱材後張り工法 [9. 3. 4] 断熱材の種類 接着剤の熱伝導率 放散量 ※F☆☆☆☆	8	屋上緑化 [9. 4. 2] 材料及び地被類の種類等 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 工法 [9. 4. 3] 固定工法 かん水装置 既存保護層の撤去 新植芝等の枯補償 新植した芝及び地被類の枯れ補償期間 ※引渡しの日から1年	9

				三浦市				工事名	三浦市勤労市民センター改修工事				
				年月日	R7.1	縮尺	NO.SCALE	図面名称	建築改修工事特記仕様書 (その7)				
				設 計 者				施設番号	棟番号	完成年度	図面種類	固有番号	図面番号
				株式会社一級建築士事務所 DEN-A 一級建築士登録 第170642号									A-08